

株式会社高島屋
が紹介します!

面白がりクラボウ人

“仕事を面白がる”とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。
また、「さまざまな困難に立ち向かい、その状況を楽しんで自分の成長につなげること」。
この企画では「この人こそ面白がって仕事をしてる!」と思うクラボウ社員を社外のパートナー企業から紹介していただきます。



紹介者

面白がり
クラボウ人

はし ゆう すけ
橋 祐介さん
株式会社 高島屋
MD本部特選バイヤー

 × **looplus**
ループラス

なか の みつ お
中野 光雄さん
倉敷紡績株式会社
繊維事業部
カジュアル部 カジュアル課

今回ご紹介いただくパートナー企業


Takashimaya
株式会社 高島屋

本社は大阪市中央区。創業は1831年(京都)にさかのぼり、日本を代表する老舗百貨店。1932年に大阪店、1933年に東京・日本橋店を開店。経営理念に「いつも、人から」を掲げ百貨店を中心とした「まちづくり」への取り組みを行ってきました。2021年からは、循環型社会の実現を目指した「Depart de Loop」
デパート デループ
という衣料品などの再生プロジェクトも開始しています。



4500本のデニムが集まって

橋：高島屋で「Depart de Loop」という衣料品などの再生プロジェクトがスタートしたのが、2021年6月。私は2020年9月にこのプロジェクトの専任担当となり、最初は、ポリエステル^{デパート デループ}の回収、再生をはじめました。そこで、ポリエステルでできるならデニムも、と考えたときに、クラボウさんの取り組みを知り、一度お話を伺いたいと。

中野：共通の知人であるジーンズプロデューサーの本澤裕治さんから紹介を受けて、日本橋の旧クラボウ東京支店で橋さんと初めてお会いしたのが、2021年の冬でしたね。

橋：コロナでマスク越しの初対面でしたが、こちらの話を真摯^{しんし}に聞いてくださって、「この方なら難しいプロジェクトでもやってくれる」という思いを抱きました。



中野：当社では、L^{ループ}PLUS DENIMというアップサイクルシステムがあり、当時、デニムメーカーから提供される裁断片を活用した再生プロジェクトは既に行っていました。ただ、消費者の方と直接つながる取り組みをしたいという思いはあったんです。高島屋さんの話に、私がやりたかったことはこれだ、と感じました。

橋：デニムの専門家である中野さんだから、すぐ前向きに取り組んでくれて。打ち合わせを重ね、22年の4月にデニムの製品回収をスタート、23年の4月に再生商品の販売開始と決めました。メディアに紹介されると、百貨店とメーカーとの取り組みに反響も大きく、予想を超える4500本のデニムが集まりました。その再生過程もお客さまに届けようと、回収から裁断、反毛などの全工程を「Depart de Loop」のホームページで記事と動画で紹介することに。



本澤氏の監修のもと、レッドカード トーキョーから発売された2種類のデニム。高島屋各店のデニムスタイルラボで販売中。(価格は27,500円)



中野さんの熱意が周りを巻き込んで

中野：クラボウの社内的にも注目度の高いプロジェクトになりました。だから橋さんの要望にはすべて応えようと。

橋：中野さんの熱意と、抜けや漏れの無い仕事ぶりに、関連工場の人たちもすぐ協力してくださって。実際に再生だけでなく環境問題への取り組みなど、学ぶことばかりでした。

中野：私も業界に関わる人の、再生素材への熱意に感動し、だからこそ最高のデニムを作り上げようと気合が入りました。再生素材と弊社の最高の素材、技術が組み合わさることで、素晴らしいデニムが出来上がりました。

橋：このプロジェクトは毎年続きます。もっと再生素材の比率も高めたいし、他社なども巻き込みたい。もっと面白いものを作り出したい。そのためにも、中野さんの熱意と豊富な知識が不可欠です。



面白いこと
やってやろう

座談会動画シリーズ も絶賛公開中!

<https://www.kurabo.co.jp/omoshirokoto/movie/>

